

## 先人顕彰シリーズの展示

ふるさとの豊かな文化の礎と、すぐれた先人の遺徳を偲ぶ…

- ◆第1次展示 H2.7-H3.6  
 瀬川 清子 (1895-1984) 女性民俗学の大家 (毛馬内)  
 杉山 万喜蔵 (1907-1957) 地域医療に貢献 (尾去沢)  
 小田 島右衛門 (1885-1959) 気品に富んだ作曲家 (花輪)  
 阿部 直部 (1873-1943) 鹿角の観光に新時代を築いた (八幡平)  
 阿部 藤助 (1886-1928) 郷土の興隆に生涯を捧げた (八幡平)
- ◆第2次展示 H3.7-H4.6  
 小田 島由義 (1845-1920) 郡長として殖産興業に尽くした (花輪)  
 浅井 小魚 (1875-1947) 俳人・大湯環状列石発見者 (大湯)  
 田里 大武 (1886-1958) 日本行政学の創設者 (花輪)  
 大渡 八郎 (1872-1972) 名著「鹿角方言考」の著者 (花輪)  
 大渡 繁雄 (1886-1976) 地域農業の近代化を促進 (八幡平)
- ◆第3次展示 H4.7-H5.7  
 阿部 恭助 (1886-1928) 鉱山日記「阿津免草」の著者 (尾去沢)  
 立山 弟四 (1867-1937) 郷土の産業と教育に貢献 (毛馬内)  
 川村 治 (1871-1955) 青英会を創立した司法大臣 (花輪)  
 諏訪 富多 (1883-1981) 地域産業文化の発展に貢献 (大湯)
- ◆第4次展示 H5.8-H6.7  
 田中 北嶺 (1838-1918) 「戊辰戦役図絵」を描く (毛馬内)  
 坂田 周祐蔵 (1878-1969) 関東学院設立と教育に献身 (大湯)  
 大栗 山文次郎 (1884-1965) 町政に尽力した文化医師 (花輪)  
 高杉 重右衛門 (1886-1965) かつの古代茜、紫根染の大家 (花輪)  
 高杉 重右衛門 (1889-1964) 地方行政農事に寄与・歌人 (尾去沢)
- ◆第5次展示 H6.8-H7.9  
 浅利 佐助 (1844-1920) 醤油醸造業の基礎を築いた (花輪)  
 宮城 佐次郎 (1881-1951) 教育と地方自治に貢献 (花輪)  
 伊藤 良三 (1883-1964) 教育と町政に尽くす (毛馬内)  
 立山 林平 (1888-1918) 将来を囑望された天才数学者 (毛馬内)  
 阿部 貞一 (1895-1950) 農村電化と観光事業の先覚者 (八幡平)
- ◆第6次展示 H7.10-H8.9  
 児玉 高慶 (1888-1929) 武道を奨励し青少年を指導 (花輪)  
 柴田 春光 (1901-1935) 才能をうたわれた若き画家 (毛馬内)  
 阿部 六郎 (1893-1974) 郷土文化の向上に貢献 (花輪)
- ◆第7次展示 H9.10-H10.9  
 内田 武志 (1909-1980) 民俗学と菅江真澄の研究 (八幡平)  
 豊口 鋭太郎 (1873-1952) 秋田県教育振興に貢献 (毛馬内)  
 豊口 霊山 (1882-1945) スケールの大きい気骨の書家 (毛馬内)
- ◆第8次展示 H11.11-H12.10  
 高橋 克三 (1888-1984) 湖南研究と地域先人の顕彰に尽力 (毛馬内)
- ◆第9次展示 H12.11-H13.11  
 黒沢 隆朝 (1895-1987) 音楽教育と音楽起源の研究 (花輪)  
 大里 健治 (1898-1978) 音楽、郷土芸能の振興に寄与 (毛馬内)
- ◆第10次展示 H13.12-H14.11  
 石田 収蔵 (1879-1940) 北方民族研究の草分け (花輪)
- ◆第11次展示 H14.12-H15.11  
 石川 伍一 (1866-1894) 国益に殉じた生涯 (毛馬内)
- ◆第12次展示 H15.12-H16.11  
 小松 五平 (1891-1972) 鳴子旧系こけしを継承した名工 (大湯)  
 川村 薫 (1897-1976) 果樹指導と郷土新聞の草分け (花輪)
- ◆第13次展示 H16.12-H17.11  
 相川 善一郎 (1893-1986) 彫塑・彫刻など文化活動に貢献 (花輪)  
 馬淵 テフ子 (1911-1985) 空襲けた女流飛行家 (八幡平)
- ◆第14次展示 H17.12-H18.11  
 川口 月嶺 (1811-1871) 盛岡藩を代表する絵師 (花輪)  
 泉澤 織太 (1777-1840)・牧太 (1778-1855)・恭助 (1806-1870) 学問のお師匠様泉澤家 (毛馬内)
- ◆第15次展示 H18.12-H19.11  
 佐藤要之助 (1859-1892)・良太郎 (1878-1912) 鹿角りんごの礎を築いた父子 (花輪)  
 佐藤 良雄 (1906-1977) カザルスのチェロを日本に広めた (花輪)
- ◆第16次展示 H19.12-H20.11  
 小田 島紳子 (1882-1969) 花輪俳談会を創立 (花輪)  
 鎌田 露山 (1891-1966) 毛馬内俳句会を設立 (毛馬内)
- ◆第17次展示 H20.12-H21.11  
 山先 青山家の人々 山相家 青山の名を高めた 青山庄藏栄重  
 山先 川口家の人々 欧米の採鉱技術を学んだ 川口理仲太

### 先人顕彰シリーズ ⑬

# 新しい文化を 築いた人たち

当先人顕彰館は、鹿角にゆかりの深い先人に関する

資料の発掘収集・保存、事跡の調査研究と公開展示をしております。

世界的な東洋史学者「内藤湖南」、

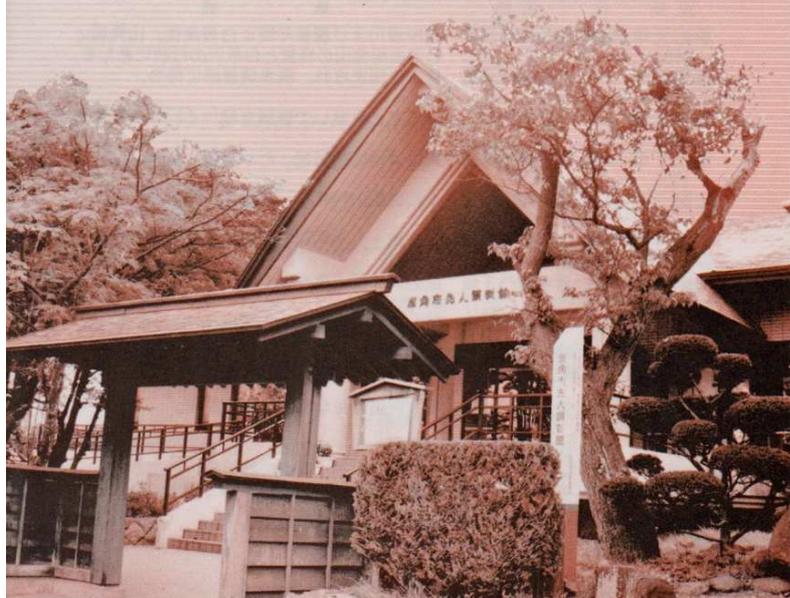
十和田湖の開発に尽力をした「和井内貞行」の

両氏をメインに常設展示し、

さらに各界の先覚者を順に展示紹介しております。

山先 青山家の人々

山先 川口家の人々



鹿角市先人顕彰館 TEL 0186-35-5250  
〒018-5334 秋田県鹿角市十和田毛馬内字柏崎3番地2

## 鉦山(白根・尾去沢)の発展につくした山先の人々

### 《青山家の人々》

## Shôzônagashige Aoyama

山相家 青山の名を高めた 青山庄蔵栄重



## 青山 庄蔵栄重

あおやま しょうぞうながしげ

日本有数の山相家となる青山家は、慶長年間（16世紀末頃）越中富山の滑川から白根金山へ来た庄左衛門昌良を初代とする。

4代まで白根金・銅山の山先として活躍、6代以後尾去沢へ移り、山先五家の筆頭として幕末まで銅山の採鉦・経営にあたる。

青山家の家伝である山相学（採鉦技術）は、11代庄蔵栄重の足尾銅山大直利（鉦脈）発見によって確固たる地位を確立した。

### 略歴 a brief personal record

没年	代	名前	業績
承応元年	初代	庄左衛門昌良	越中滑川より慶長年間に白根来住。山先役として白根金山の経営と白根沢の行政にあたる。
1652			
延宝5年	2代	庄左衛門昌良	湧水に悩まされ、疏水坑普請に努力。
1677			
延宝8年	3代	庄左衛門昌久	父のあとを継いで普請を続ける。次第に銅山へ。
1680			
宝永2年	4代	庄左衛門昌光	銅山は始め順調だったが次第に衰退へ。
1705			
宝暦2年	5代	金右衛門昌秀	十和田銀山吟味役・御山先となる。
1752			
天明3年	6代	金右衛門正周	(正國) 同上。のち尾去沢御山先となり尾去沢へ移る。
1783			
天明4年	7代	金右衛門正候	尾去沢の御山先を継ぐ。
1784			
文政9年	8代	金右衛門栄承	尾去沢御山先並びに白根御山切支丹宗門改役。
1826			
嘉永元年	9代	金右衛門栄謙	尾去沢御山先のち御支配人兼御山先となる。
1848			
明治23年	10代	金右衛門羊我	尾去沢御山先ならびに御支配人。
1890			
明治25年	11代	庄蔵栄重	戊辰戦争に大砲方として従軍。足尾銅山山相方として採鉦・開発の総指揮にあたる。
1892			
明治43年	12代	金彌	草倉銅山(新潟県)鉦長として経営にあたる。
1910			

### 《川口家の人々》

## Richûta kawaguchi

欧米の採鉦技術を学んだ 川口理仲太



## 川口 理仲太

かわぐち りちゅうた

中世、比内地方を支配した浅利氏の一族と伝えられる川口家は、戦国末期（16世紀末）頃から尾去沢の田郡に居住した。

代々山先として尾去沢鉦山の開発・経営にあたり、青山家と並ぶ山相家としての名声を得ていた。川口家に残されている膨大な山相図は当時の鉦山を知る貴重な資料である。

特に水抜きのための樋は富十郎の発明とされる。また、與十郎の長男理仲太は幕末、アメリカ人に学んで採鉦技術をみがき、関東・北越・奥羽の諸鉦山の開発設計にあたり、尾去沢に帰ってから技術者の中心的存在として、尾去沢鉦山の近代化に重要な役割を果たした。

### 略歴 a brief personal record

没年	代	名前	業績
不詳	初代	右京	
		(中略)	
不詳		與右衛門	
不詳		與十郎	寛保3年(1743) 尾去沢銅山の山先を勤める。
不詳		與六	宝暦10年(1760) 父與十郎の跡を受けて山先となる。
不詳		富十郎富教	『天保十年 日日集書記』などを著す。
不詳		與十郎	奈良宮司などとともに尾去沢鉦山の山先を勤める。
大正8年		理仲太	藩命で横浜遊学、関東、北越から奥州各地の鉦山の開発にあたる。
1919			儒学の造詣深く、また漢文にもすぐれる。
明治27年		恒蔵	内藤湖南の友人。漢学にすぐれた。
1894			